



光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2019年10月号>

151号 2019. 10. 01 配信

台風15号で災害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。
野にはススキ、視線を上げれば、青く澄み切った秋空に高くうろこ雲やいわし雲。
おとなになると空を見上げる機会も少なくなったような気がします。
忙しいときほどたまには雲を眺め、気分転換をしてみませんか。

■学園だより

第5回オープンキャンパス 10月26日（土）13：30～16：30
光葉同窓会推薦入学試験をお考えの方は、ぜひご参加ください。

■同窓会だより

◇「2019年度 ワーキングネットワーク秋祭り」を開催しました

日時：9月28日（土）13：30～15：30

10号館5階 光葉同窓会研修室で、本学名誉教授 古川真人先生をお迎えして、「楽しく生きる心理学」のテーマでご講演いただきました。その後、懇親会で情報交換を行いました。

（参加 62名）



「人生100年時代」と言われる中、いかに健康に人生を楽しむかについてお話を伺いました。

どうすることもできない状況が続くと無力感を覚えるが、悪いことの原因を自分のせいではないと楽観的に捉えることが大切である。マイナスな事柄はポジティブ思考で捉え直し、将来良いことが自分に起きるというグローバルな結果期待が、積極的な行動の原動力になる。楽観性は健康を保つ上で、最高かつ最強の心理資源だそうです。

◇光葉同窓会生涯学習 第6回お菓子教室ご案内

～サワークリームチーズケーキとロッククッキー～

日時：10月16日（水）10：30～14：00

会場：1号館 地下第2調理室

講師：田中多喜子氏（1964年生活科学科卒）

参加費：2,600円（材料費、保険、昼食込み）

定員：20名

持ち物：エプロン、三角巾、ハンドタオル、ソックス

申込受付：10月7日（月）～11日（金）ただし、定員になり次第締め切ります。

申込方法：氏名・卒年・学科・電話番号を記載し、FAXまたはメールでお申込みください。

申込先：光葉同窓会事務局 FAX：03-3411-4066 E-mail:dousokai@swu.ac.jp

◇秋桜祭お知らせ

大学で開催される第27回秋桜祭（テーマは『結』）に、光葉同窓会も参加いたします。皆様のご来場を心からお待ちしております。

日 時：11月9日（土）・10日（日） 10：00～15：30（学内は16：00迄）

会 場：3号館1階

内 容：展示「創立者人見圓吉先生の願い」／バザー（全国51支部、同窓生有志、同窓会本部）／こどもゲームコーナー／働く女性を支援するワーキングネットワーク活動報告／生涯学習活動報告

※バザーなどの収益金は、学生を支援する光葉同窓会奨学金に充てられます。

■広げよう光の葉

服部 典子さん

1986年 短期大学部国文科卒 （東京都西北6区支部）

「灯火の集い」によせて ～ 私のキャリアの道しるべ ～

昭和女子大学短期大学部に入学した頃の私は、これといった目標や志がなく、かといって大きな不安を抱くのもなく、同じ学科の友人たちとの楽しい時間に満足していました。今思えば、なんともんびりした大学生だったのだと自分のことながら呆れてしまいます。

とは言え、短期大学部の学生生活は2年間。入学年度と卒業年度が背中合わせの慌たしさでした。あっという間に迎えた2年生の頃には、友人との会話で卒業後の進路を話題にするものの、いったい自分が何をしたいのかよくわからないままでした。東明学林学寮研修の最後の晩に行われた「灯の集い」では、クラスメートが将来の夢を語る中、私は何も思い浮かばないことに焦っていました。自分の順番が来て思わず出た言葉は「目の前の人に真剣に向き合いたい。そんなおかあさんになりたいです」でした。実はちょうどその頃、母が闘病生活を送っていたので、入院中の母への思いが将来の夢につながったのかもしれませんが。

そして、私が卒業して社会人となった1986年4月は男女雇用機会均等法施行の時でした。企業で過ごした10年間は厳しくも誠実な上司や先輩方に恵まれて、仕事を通して自分が成長する実感があったように思います。入社2年目からは購買担当として仕事を任されるようになり、新規プロジェクトに関わるなど様々な業務を担当しました。退職後は簿記の勉強がきっかけで税理士事務所に勤務し、2001年からはキャリアカウンセラーとして、大学生のキャリア支援の仕事に携わっています。

大学生の支援というと就職活動のサポートをイメージされるかもしれませんが。しかしながら、キャリア支援で重視されるのは就職活動だけではなく、一人一人が充実した大学生活を送り、自分の将来を考え、自ら進む道を選択するために、必要となる情報、知識やスキル、具体的な方法を提供することが求められます。夢や希望、不安に寄り添うやりがいがある仕事であると同時に、専門家として研鑽を積む必要があります。

あらためてふり返ってみると、のんびりした学生生活を送っていた自分が、まさか大学生の進路選択に関わるとは思いもしませんでした。ただ、今思えば、灯の集いで言葉にした「目の前の人に真剣に向き合いたい」という思いが、仕事を続けるうえでの“道しるべ”になっているように感じています。

End